

伊庭内湖に放流したホンモロコの移動

三枝 仁・吉岡 剛・田中 満(滋賀県水産振興協会)

◆ 背景・目的

伊庭内湖におけるホンモロコの生息状況調査により、伊庭内湖において多数のホンモロコ稚魚が生息していることが判った。しかし、伊庭内湖で育ったホンモロコが琵琶湖へ移動し、漁獲に貢献するかは不明である。そこで、伊庭内湖に標識種苗を放流して放流後の移動を調査した。

◆ 成果の内容・特徴

- ・ 6月19日に琵琶湖栽培漁業センターで生産された20mmサイズ種苗83,000尾を伊庭内湖に放流した。
- ・ 10月から11月に琵琶湖で操業された小糸網漁獲物を4,187尾、11月から翌年3月にかけて操業された沖曳網漁獲物2,899尾を収集し、耳石標識を確認したところ、伊庭内湖に放流した種苗が再捕されていた(表1)。
- ・ 標識魚の再捕地点は複数地点に広がっていた(図1)。

◆ 成果の活用・留意点

- ・ 伊庭内湖へ放流した稚魚が成魚に成長し、琵琶湖で漁獲されていたことから、内湖で繁殖したホンモロコが琵琶湖での漁獲に貢献していることが考えられた。

表1. 漁獲物標本中の標識魚の割合

漁法	無標識魚	伊庭内湖 放流魚	その他 標識魚	合計
小糸網	3,852	6	329	4,187
沖曳網	2,289	8	602	2,899

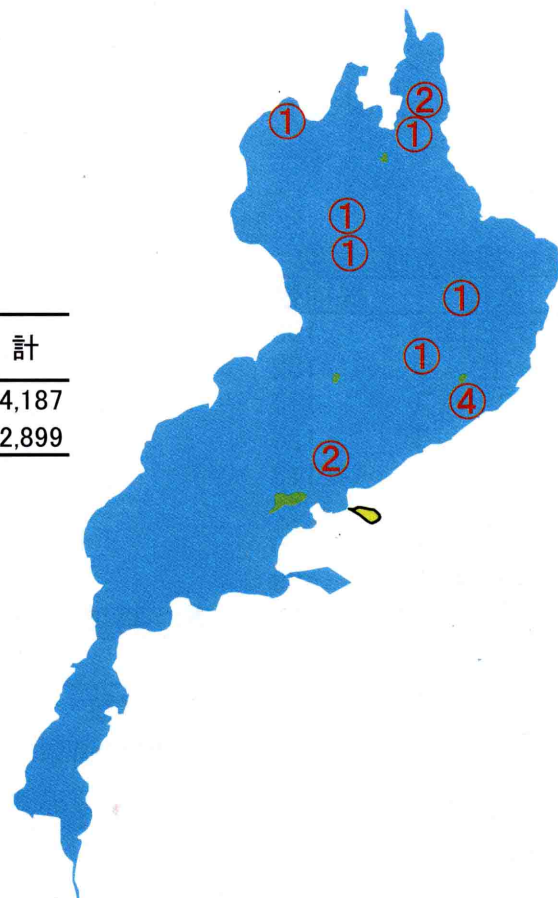


図1. 伊庭内湖放流魚の再捕地点(数字は再捕尾数を示す)